

■【トピックス】
安保法案強行採決！



安保法案が参議院で可決されました。憲法学者による違憲だという意見が多い中、強硬に採決に持ち込んだので成立です。

日本では憲法改正が難しいため解釈の運用により、これまでは対処してきました。

しかし、それには限界があり、今回の安保法制はその枠組みを超えました。解釈改憲を国会だけで決めることは、時の政府による自由裁量権を認めることになります。この国のあり方がまさに変わりますね。

■【今月のキーワード】
改正マイナンバー法

マイナンバー法が改正されて、マイナンバーの利用範囲が拡大されました。具体的には、次の各分野です。1. 預貯金口座へのマイナンバーの付番、2. 医療等分野における利用範囲の拡充等、3. 地方公共団体の要望を踏まえた利用範囲の拡充等です。当初は、税と社会保障の分野に限定して利用するということが範囲を限定していましたが、マイナンバー法が施行される前に、利用範囲が拡大されました。多くの国民にはまだまだ周知されていない中、法律だけが先に進んでいきます。

■【ビジネス・アイ】
マイナンバー法改正！

社長 「そろそろマイナンバー制度に対応しようと思って、従業員向けにマイナンバーの説明会を開いたんだけどね。従業員から『マイナンバーって何ですか』って尋ねられちゃったよ」

花野 「まだまだ、マイナンバー制度については知らない人が多いですね。来年1月1日から施行ですが間違いもありそうです」

社長 「ところで、施行前なのにマイナンバー法が改正されたってニュースで聞いていたけどどうしたことかなあ？」

花野 「もともとマイナンバー制度は、税と社会保障の分野に限定し使用することになっていました。しかし、今回の改正でその適用範囲を広げることになりました」

社長 「そうなんだ。具体的には、どのように広げたのかなあ？」

花野 「一つには銀行預金のペイオフに備えて預金保険機構等にマイナンバーの利用を認めました。また、医療等分野にも適用が広げられ健康診断情報や予防接種履歴が共有可能となります。さらに、地方公共団体で行う公営住宅の管理に利用することが可能になりました」

社長 「なんだか、制度が始まる前から利用範囲がどんどん広がっていく感じだね。年金機構のこともあるから情報漏えいとかセキュリティが心配だね。大丈夫かな？」

花野 「気になるところですね」

■【今月の1冊】

『検証・法治国家崩壊 砂川裁判と日米密約交渉』

吉田敏浩、新原昭治、末浪靖司 著
創元社 ￥1500

政府が安保法案の審議に際して、集団的自衛権の根拠として持ち出した砂川判決ですが、実は、立憲主義を否定する重要な判決です。

解禁された米国の機密文書により、時の最高裁長官と米国大使が緊密に連絡を取り合っており、判決に至ったことが明らかになっています。そこには司法の独立性は存在しません。この国は本当に法治国家なのでしょうか？



■【編集後記】

生まれて初めて長良川の鵜飼いを観てきました。観覧船を貸し切り美味しいお弁当とワインをいただき、お大尺遊びながらの鵜飼いの観覧でした。当日は暑くもなく寒くもなく、目の前で鵜飼いを観ることができ、とてもいい経験になりました。

『経営のセカンド・オピニオン』vol.103（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2015.10.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL052-205-6361 FAX052-204-8808

http://homepage3.nifty.com/binspire/